

三郷北小学校 学校だより

令和2(2020)年5月号

休校措置が続きます

楽しいなゴールデンウィークも今年は緊急事態宣言が発令されている中でした。気持ちの良い季節でお天気も良く、いつもであれば家族でお出かけをしたり、親せきで集まったりして過ごすはずが、外出自粛でわくわくすることも少なかったのではないかと思います。そんな中でも、家庭訪問から戻ってくる先生たちからは、とても複雑な折り紙の作品を作ったり、壮大なレゴの作品作り、お菓子作りや料理、手作りマスクなどの裁縫作品などに取り組んだりしている様子も聞いています。

このような状況も、もう少しの辛抱と思われれます。この機会に子どもたちがおうちで過ごす中で、普段ではできなかったことや、じっくりと時間をかけなければできない事にたくさんチャレンジしてほしいと思います。



咲き始めた東門のツツジ

子どもたちの登校再開を待ちながら

子どもたちが学校にいない間も登校が再開された時に備えて、着々と準備をしています。冬に園芸委員会の子どもたちがまいたレンゲの種も、満開に咲いています。2年生がレンゲ畑で遊ぶ予定でしたが今年は残念ながら行うことができませんでした。4月には2羽のウサギが新しくやってきて、先住のウサギと仲良くなり子どもたちの登校を待っています。子どもたちが登校を再開し、名前を付けてもらう時を待っています。



園芸委員が植えたレンゲ



新入りの2匹と仲良いウサギ



わくわく農園の土づくり

またわくわく農園では、栽培活動に向けて肥料を入れ土づくりをしています。2年生の野菜の植え付けの準備が進んでいます。農園ではすでに、3年生の観察のためのキャベツにちょうが飛来しています。卵から成虫へのちょうの成長の過程を観察する準備をしています。他にも、4年生では植物の受粉と成長の仕組みの観察実験用のヘチマとヒョウタン、5年生のインゲンマメの発芽と成長の実験や、6年生の光合成の学習のためのジャガイモなど、その季節に学習する教材を用意しています。家庭訪問の際に配付する学習プリントにこれらの写真などを使っていることもありますので参考にしてください。

さらに1年生はアサガオを育てる時期になりましたが、学校においておくと観察ができないのでおうちで育てていただき、観察してもらうことにしました。5月の間に種から双葉・本葉と育てていくことを楽しみに、また学校が再開した時に友達や先生と「こんな色の花が咲いたよ」と話をするのを楽しみに育ててほしいと思います。



3年生のチョウの観察用キャベツ 5年生の実験用インゲン 6年生の実験用ジャガイモ

抗菌コートをしていただきました

休校措置が解除された際、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、法隆寺青年会議所(三郷町商工会内)様のご厚意により、新型コロナウイルス感染症対策として、校舎内のすべての手洗い場に抗菌コートを施工していただきました。

目には見えないウイルスですが、こちらも目には見えないですが抗菌コートがきちんと施されていることに安心して、しっかりと手洗いをしてほしいと思います。



《 お知らせ 》

- 西和医療センターに設置されていた院内学級の児童が退院し、院内学級は閉設されました。それに伴い学級を担当していました井上万里江先生は4月27日をもって退職いたしましたのでお知らせします。
- 健康診断について
休校期間の延長に伴い予定していました健康診断を全て延期いたします。休校措置が解除され予定が決まりましたらお知らせいたします。
- 本年度の水泳授業については全学年中止といたします。
- 町より「ご家庭のネットワーク環境について」のアンケートが来ています。家庭訪問時に各担任がお聞きしますので、アンケートに回答をしてください。お留守の場合は電話で連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。

※ 学校だよりはホームページではカラーでご覧いただけます。